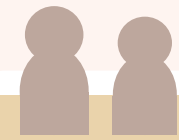
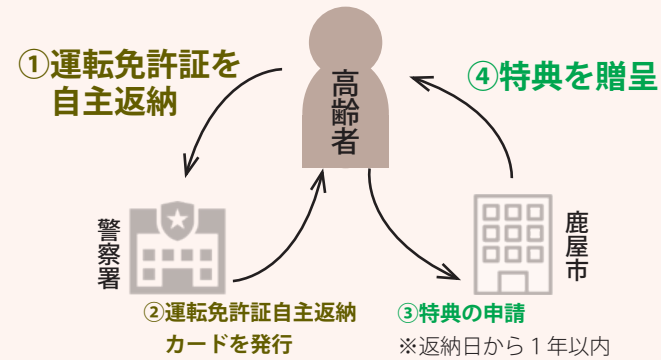


運転免許証を返納する

市では、運転免許証を返納した65歳以上の高齢者に対して、各交通機関で使える特典を提供する事業を実施しています。警察署で免許証を返納した際にもらえるカードを持参し、市安全安心課又は各総合支所で申請してください。

市安全安心課 Tel 0994-31-1124



5月に運転免許証を返納したご夫婦(夫83歳・妻78歳)

最近、運転中にハッと危ない思いをすることが増えていました。高齢者による悲惨な交通事故のニュースを見て、事故を起こしてからでは遅いと決心し、夫婦で運転免許証を返納しました。初めは不便になるのではないかと思いましたが、バスを利用したり子どもたちに送ってもらったりするなど、車無しの生活にも慣れてきています。

特典1

A バス IC カード 9,000 円分 (いわさき IC カード)

●利用可能な交通機関 くるりんバス、県内の路線バス、鹿児島市電、垂水フェリー、桜島フェリー など

B タクシー利用券 9,000 円分 (500 円×18 枚)

●利用可能なタクシー会社
まいにち交通、旭交通、第一交通、串良タクシー、輝北タクシー、コミュニティタクシー NAKAMURA、有限会社結愛、みさき交通鹿屋

●利用期限 交付を受けた年度の3月31日

特典2

●かのやばら園無料入園券 (10 枚)
●ばらの苗無料引換券

70 歳以上の市民へバス料金を助成します

●助成額 バス IC カード購入額又は追加購入額の2分の1
●助成限度額 1年間(4/1～3/31)に5,000円
●申請 バス IC カードとその領収書(購入証明書)、身分証明書、印鑑、本人名義の通帳を持参

市高齢福祉課 Tel 0994-31-1116



ドライブレコーダーを貸し出しています

鹿屋警察署では、運転に不安を感じている高齢者や、その家族向けに、車に装着し走行の様子を撮影・記録できるドライブレコーダーを貸し出しています。撮影した動画をもとに、警察官と運転を確認することができます。

●対象者 高齢運転者やその家族 ●料金 無料
●貸出期間 1週間程度 ●申込 事前に連絡
※装着できない車種有り ※台数には限りがあります
市警察署交通課 Tel 0994-44-0110

自分の運転を知る

運転者自身や家族が、運転能力を客観的に判断することは、事故を防ぐ上でとても大切です。警察署では、高齢運転者やその家族へ、ドライブレコーダーの貸し出しや交通安全の啓発活動などを行っています。

ちやいっぺで補償運転を心掛けよう!

補償運転とは、危険を避けるため、運転する時と場所を選択して、加齢に伴う運転技能の低下を補うような運転方法をとること。みんなで唱えて安全運転を実践しましょう!

- ち 調子を確認しましょう!
- や 夜間の運転は控えましょう!
- い 今、出掛ける必要があるか考えましょう!
- っ 常日頃、通り慣れた道を運転しましょう!
- ぺ ペースを守って運転をしましょう!



安全運転が できなくなる前に

私は大丈夫。
そう思っていますか。

高齢者の運転する車が急発進するなど、尊い命が失われる交通事故が全国で相次いでいます。ひとたび交通事故を起こせば、被害者や加害者本人だけでなく、その影響は愛する家族にまで及びます。車を運転する高齢者の皆さんは、自らの運転をいま一度、振り返ってみてください。市では、65歳以上の高齢者に対して運転免許証の返納に関する支援などを行っています。

市安全安心課 Tel 0994-31-1124

加齢が招く悲惨な事故

高齢運転者の交通死亡事故の特徴 (全国)

75歳以上の高齢運転者が起こす交通事故では、運転中のブレーキペダルとアクセルペダルの踏み間違えなどの「操作不適」による事故が最も多い状況です。

75歳以上の運転者における死亡事故の人的要因

出展：警察庁「75歳以上・75歳未満の運転者の人的要因別死亡事故件数(原付以上第一当事者)」平成29年

1位
操作不適
(130件)

2位
安全不確認
(102件)

3位
漫然運転等
(64件)

操作不適とは

- ブレーキとアクセルの踏み間違い
- ハンドルの操作誤り など



▲ブレーキのつもりが足はアクセルに。パニックになり余計に踏み込んでしまうケースが多発している。

減らない高齢者の交通事故
今年4月、東京都豊島区で、87歳の高齢者が運転する乗用車が暴走し次々と人をはね、母子2人が死亡するといったまれな交通事故が発生しました。市内でも、高齢運転者の過失が大きい事故が、平成30年に99件、今年も5月までに37件発生しています。

こうした事故で多いのは出会い頭の衝突や追突。事故の多くは高齢運転者による操作不適や安全不確認により発生しています。

高齢運転者の多くが運転歴数十年というベテランであるにもかかわらず、なぜ事故を起こしてしまうのでしょうか。これには加齢に伴う身体機能や認知機能等の低下が関係しているとされています。

悲惨な交通事故を防ぐためには、高齢者自身やその家族などが、運転能力を冷静に判断し、事故を起こしてしまう前に、運転を自粛したり運転免許証を返納したりするなど、早期の対策をとることが必要です。

市内で発生した、高齢運転者による踏み間違い等を原因とする交通事故例

- 車を駐車しようとした際に、ブレーキとアクセルを踏み間違い、商店に衝突(60代女性)
- 前を走る車が停車しようとしていることを確認したが、ブレーキ操作を誤り、前の車に追突(70代女性)